

ISO /TC 225 会議報告.....2010年6月2日~6月4日（トロント）

2010年6月9日

報告者： 三木 康夫

ITS の進歩に伴う ISO20252:2006 の改定作業で Peter Jackson（イギリス）と Ed Van Eunen（オランダ）の2人が起草し、にさらに4人のコミティメンバーが校訂したドラフトが2010年2月19日に各国に配布された。このドラフトについて各国のコメントが4月15日までに寄せられ、そのコメントについて参加各国の統一見解を得、ドラフトの最終版を作成するための標記の会議が、6月2日~4日、カナダのトロント（ウェスティン・ハーバーキャッスルホテル）で行われた。

参加国は、オーストラリア、オーストリア、カナダ、日本、メキシコ、オランダ、スペイン、スウェーデン、イギリス、アメリカ合衆国及び ISO の本部（スイス）の11カ国、20人。日本からは JMRA の要請で三木が参加。

議長は UK の Bill Blyth が3日間務め、ISO 本部の Saruhashi さん(経済産業省から出向している日本の女性の方)の条文の用語や定義が ISO の規格要件に合うかどうかなどのサポートがあった。

3日間の活動は次のとおり

1. 6月2日（13:00-17:00）

ドラフトの条文のうち、各国からあらかじめコメントや質問のあったものについて WG(ワーキンググループ)として、1つ1つどのようにするかを決めていった。

2. 6月3日（8:30-14:00）

1日目と同様の WG としての作業。難しい案件については、担当を決め、翌朝までに新たなドラフトを作成する。

15時からホスト国のカナダの協会のご厚意で、ナイアガラへのツアーとディナーへの招待があった。

3. 6月4日（9:00-14:00）

前日の宿題と、前日までのディスカッションに基づきドラフト全体について訂正を終了。参加者全員で訂正箇所を承認。

今後のスケジュールとして、ISO 事務局（担当スペイン）と参加メンバーのボランティアでファイナルのドラフトを作成（7月末まで）。

8月－10月中旬で、各国からのコメントを要請。

2011年3月に承認投票。その後フランス語に翻訳の過程を経て、2011年5月中旬に National Meeting を経て発行。National Meeting はメキシコで行われる予定。

4. そのほかの決定事項

- ・ TC69 との連携：

6月にパリで行われる TC69 の会議に一人派遣する。

TC225 と TC69 で用語の定義で重複するところは多くは無いと思われるので、まず TC の定義と比較する必要がある。

- ・ ISO 20252 の各国の進捗状況：

各国から進捗状況についての報告があった。

進んでいる国はイギリス（70社）、オランダ（40）、スペイン（20－30）、アメリカ（15）など。遅れている国は、オーストラリア（4）、ドイツ（3）、スウェーデン（3）、日本（2－3）、オーストリア（1）、カナダ、メキシコはまだ。

- ・ UK の Peter さんからの「なぜ ISO 20252 の Assessment と Certification が必要であるか」について関係者に説明するための PPT の紹介・・・ISO 事務局を通して入手予定。

- ・ インターナショナルな調査の監査の各国の認証機関の協力の可能性についての各国の初期的な見解。

大筋は好意的。日本は言語が常に問題となることを指摘。

以上。